ひらつか市民活動センター情報紙

No. 号 2019年3月号 (平成 31年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されて いる人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

P.1 ·······ひらつか市民活動センターの移転のお知らせ

P.2 ·········団体レポート 特定非営利活動法人『フードバンクひらつか』

P.3 ……お役立ち情報

P.4 ……センター情報・平塚市情報



センター情報

ひらつか市民活動センターの移転のお知らせ

平成31年4月1日(月)から、ひらつか市民活動センターは、平塚市見附町1-8(市民センターの東隣) に移転します。 新しい施設は、崇善公民館との複合施設となり同施設の2階が市民活動センターとなります。

引き続き、皆様のお役に立てる市民活動センターを目指して運営してまいりますので、移転後もよろしくお願いいたします。

●4月1日(月)は オープンデー

4月1日は、会議室やミーティングスペース等を開放し、オープンデー(内覧会)として、新しい施設をいつでもご覧いただけるようにします。スタッフが施設の使い方などをご説明します。(入退場自由)

●引っ越しにかかる臨時休館について

新施設への引っ越しのため、**3月24日(日)から3月 31日(日)まで**、臨時休業いたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

団体 レポート

特定非営利活動法人『フードバンクひらつか』

「もったいないをありがとうへ」ひとり親家庭や支援を必要とされる方に対して、食品等を支援 する活動を行い、心のユニバーサルデザインを実践し、行政と連携を図りながら貧困をなくすこと を目指して活動しています。

■活動のきっかけと思い

特定非営利活動法人「フードバンクひらつか」は、2017年7月に設立し、翌年12月5日にNPO法人格を取得した新しい団体です。「食材費を減らすことで、ひとり親家庭の負担を少しでも減らしたい。」という代表大関めぐみさんの思いから始まりました。

団体設立の前、当時大関さんは、「フードバンクかわさき」でボランティアをしていました。そこでは平塚からの依頼が思いのほか多かったことから「こんなにも困っている方々がいるなら、平塚で活動を始めたい。」と決意したそうです。

子ども食堂を通じて、平塚市内の保育園でひとり親家庭の方が困っているという情報を得た大関さんは、先輩のNPO法人や企業・農家さんにお声掛けし、頂いた食品を届ける活動をスタートさせました。その後、平塚市環境政策課からの提案で、市内の事業者さんや市民に食品の提供を呼びかける「フードドライブ」が、平成30年4月、平塚市役所1階の多目的スペースで始まりました。



ご寄付頂きたいもの:賞味期限 2 ヵ月以上、未開封、常温保存が効くものがよいそうです

■つながる支援の輪

たった一人で始めた活動も、通っていた手話教室で出会った二人の女性がボランティアを願い出てくれました。また、タウンニュースの記事を見た方からの申し出もあり、現在は15名のスタッフで活動しています。

活動内容は、市民・企業・団体の皆さんへ食品の提供を呼びかけ、お預かりした食品を賞味期限ごと、種類ごとに棚に分けて整理します。食品を必要とする方々のアレルギーの有無や、生活環境に合わせて食べられない食品がないかを確認し、バランスよく詰めます。その後、ひとり親家庭をはじめとした支援を必要とされる方、児童福祉施設、子ども食堂、児童相談所、学習支援団体、野宿者支援団体へ届けます。活動開始後、昨年12月までに158世帯4万6750点の食品を延べ935人の方々に届けることができました。



仕分け作業に取り組む大関さん(右端)とメンバーの皆さん

■活動の喜びと悩み

生活が安定し、支援の手を卒業した方からお手紙や連絡を頂くことがあり、そんな時は「活動を続けて良かった。」と、ボランティアさんたちの喜びも一塩だそうです。「お子さんの高校入学等で出費がかさむ時、親御さんの病気等で仕事ができない時、そんな時にこそ手を差し伸べる存在になりたい。」と大関さんは話します。

昨年11月には、新たな事業として0円ショップを開催しました。そこに来られた方の中には「行政には相談に行きづらい」「生活に困っていても言えない」と普段から思っておられる方々も来場され大変好評でした。

※0円ショップ:日用品や食料を企業等から集め、 来場者へ無料で配るイベント



賞味期限ごと、食品ごとに分けてわかりやすく保存します

現在は活動資金と人手不足が目下の悩みです。具体的には事務所の維持費、車のガソリン代、ボランティアさんの交通費などの経費の捻出、食品の仕分け作業や配送を手伝ってくれるボランティアさんをもっと増やしたい、と考えています。

「フードバンクひらつか」の活動に関心のある方は、 是非下記連絡先へご一報ください。

特定非営利活動法人 フードバンクひらつか 住所: 平塚市山下 12-1 リゾート高麗 101 電話: 0463-79-5824 FAX: 0463-79-5825 メールアドレス hiratuka.foodbank@gmail.com お役立ち 情報

3月で決算を迎える団体も多いと思います。 今号では 総会 と 事業報告書 に関する情報を お届けします。

年次総会(定期総会)、どんな方法で開催していますか?

「毎年この時期になると、一人でバタバタしています。法人は事業年度が4月~3月。3月は報告書の山がてんこ盛り、なるべく早く総会と事業報告と登記を終わらせたい。会計さんと微調整をして決算書をまとめ、会員の皆さんには総会の議案書をお送りする。総会にはなるべくたくさんの会員や関係者にも参加して欲しいと思うと、案内状書きにも力が入ります。」と話すのは市内 NPO 法人の代表理事さん。総会は、NPO 法上、会員によって構成される会議で、法人の最高の意思決定機関であり、理事は最低年1回招集しなければならない、とされています。任意団体でも会員組織であれば、年1回は事業報告・決算、事業計画・予算について、意思決定を行っていると思います。多様な意見を調整して、意思を形成するプロセスこそが、市民活動団体らしさといえます。総会という数少ない意思表明のチャンスにおいて、会員の参画度を高めるための仕組みや雰囲気づくりも考えてみましょう。

●正会員限定にせず、賛助会員も傍聴可としてオープンな総会に

団体への愛着や貢献は、意思決定にどれだけ関わるチャンスがあるか、自分の意見やアイデアが団体の活動や事業に影響を及ぼし形になるかどうかで、大きく変わってきます。総会を正会員限定にせず、賛助会員も傍聴としオープンにする。また総会と懇親会を分けず、参加者全体に共有している、という団体さんもあるようです。

●写真を多用したプレゼンテーション方式で

プレゼン資料をつくるのは大変ですが、何をやっている団体なのか全体像が伝わりにくいので、一年 に一度くらいはしっかり資料をつくりこんで伝える。また、ここで作った資料は講演などにも活用でき るので割と重宝している、という団体さんもあるようです。

●「伝えるチャンス」を最大限に生かす

総会&懇親会に来る人がお互いに交流したり、楽しい時間を過ごしてもらえるよう、事務局スタッフは 意見交換しながら工夫を凝らし、来られない人にも丁寧にコミュニケーションをとり、「伝えるチャンス」 を最大限に生かす、という団体さんもあるようです。

一年間の活動を淡々と報告するだけでなく、親睦を深める交流の場に、また「伝え方」にも一工夫加えているようですね。みなさんの団体ではどんな工夫をされているでしょうか?

報告書は誰のため?何のため?

['] 総会では「活動報告書」を、イベントや事業が終わった時には「事業報告書」を作成していることと 思います。ここでは、報告書を書く意味やポイントについてご紹介します。

● 報告書は団体がどんな活動をしているかを伝えるもの

会員はもとより、第三者(関係者・助成元・行政等)に向けてお伝えするのはもちろんのこと、寄附やPR、助成金の申請にも使えるのが報告書です。自分目線ではなく相手目線で書くことがポイントです。

2 どんな報告書を作ったらいいの?と悩んだら

他団体の報告書の中から自分の好きな報告書をお手本にしてみても良いでしょう。また、文字ばかりの報告書より、グラフや写真を入れたり、中学生でも読めるような簡単な言葉を使うと、誰もが読みやすい報告書になります。

3 報告書で仲間が増えることも

活動内容がなかなか相手に伝わらないと嘆く声をよく耳にします。活動報告書には、団体の理念や想いも書き入れましょう。活動の想いや内容に共感してもらえれば、応援してくれる仲間や寄付者も少しずつ増えていくでしょう。

4 伝わる報告書を書こう

出来上がったら声に出して読んでみましょう。声に出すとおかしいと気づく ことも多いようです。信頼と理解を得るために、目的や使命、想い、事業の成 果を、しっかりと報告書に載せ「伝わる報告書」を作っていきたいですね。 ヤンター情報

●団体活動にお役立てください!

ひらつか市民活動センターの2019年度事業概要をご案内いたします。

	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
イベント	夏のユースボラ センターまつり
講座	NPO 実務講座(設立・会計)・PC・情報発信・NPOマネジメント講座(資金・仲間作り・場づくり)
交 流	まちづくりミーティング (コミュ☆カフェ) 隔月開催
NPO・市民活動相談	専門相談(毎月第2・第4火曜日) 窓口相談(センター開館日9:00~21:30)

※詳しい日程・内容は決まり次第ホームページ・情報紙・メールマガジン等でお知らせします。

4月のコミュ☆カフェ「シニアの地域活動マッチング交流会」

人生100年時代と言われる昨今、自分らしくいつまでも健康で活き活きと暮らしたいと考えている方も多いのではないでしょうか?地域で活き活きと活動する方々から直接話を伺います。

日時 4月24日(水) 13:30~16:00 定員 30名 参加費 無料

ゲスト ●地域や NPO で活動している方々

新規登録団体のご紹介

- *オリエンテーリングクラブ「サン・スーシ」(No.495)
- 平塚100人カイギ (No.496)
- ママぎゅっと (mamaguuutto) (No.497)
- **囲碁対局ボランティア三連星** (No.498)
- 平塚音楽家協会 (No.499)
- 平塚の図書館を考える会 (No.500)
- **OHANA** (No.501)
- **あいあいリトミック** (No.502)

平塚市情報

ファンド報告会の開催

平成30年度ひらつか市民活動ファンドの助成を受け、事業を行った市民活動団体(11団体)が、一年間の活動成果を報告します。市民活動やボランティア活動に興味のある方、「参考にして活動を発展させたい」「連携できる団体を見つけたい」という団体の方、是非ご出席ください!

提案型協働事業説明会

2020年度市民提案型協働事業の募集開始にあたり、説明会を開催します。 今年度から予算面など、より提案しやすくなりました!ぜひご参加ください。

日時 4月13日(土) 14:00~16:00 場所 ひらつか市民活動センター(新施設)

●30年度事業報告会もご参加ください!

日時 5月 18日 (土) 14:00~15:30 場所 ひらつか市民活動センター (新施設)



編集後記

東日本大震災(3.11)から8年が経ちました。日本は地震大国(災害大国)です。いざという時のために日頃から地域の支え合い助け合いが大切ですが、皆さんは地域のつながりをどのようにつくっていますか? 改めて大震災で亡くなられた方への哀悼の意を表すると共に、地域での支え合い絆を深めてゆきましょう。(西上)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始を除く)

〒254-0811

神奈川県平塚市八重咲町 3-3 JA ビルかながわ 2階(2019年3月末まで)

TEL 0463-21-7517 FAX 0463-22-3701

Eメール info@hiratsuka-shimin.net

URL http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2019年2月20日現在)

登録団体数:475 団体

(内訳 市民活動団体…354 団体、一般団体…121 団体)

